

中学校統合地域説明会

(1)開催概要

地域説明会については、村内5中学校の校区を対象に、児童・生徒の父母や地域の団体等の方々に参加してもらい、統合中学校の概要や子どもたちへの配慮事項、今後必要な取組み等について意見交換を行いました。

(2)質疑応答のとりまとめ

■生徒への配慮について

質問	回答
中学3年生にとっては高校受験の時期に統合となるが、子どもたちへのストレス軽減策など、どのように考えているのか。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにとっては多くの不安があると思うので、統合の2カ年前（平成30年頃）から交流事業を実施していく予定。 小学生と中学生の交流学習や教科以外にも他校との交流が必要であれば実施する。さらに、子どもたちだけでなく保護者も顔見知りになるような交流をつくってほしい。 学校の先生の人事についても、沖縄県が管轄ではあるが、統合中学校に5中学校の先生を派遣し、受験生をサポートすることも考えていきたい。 統合によって受験の競争や切磋琢磨が生まれることで、受験勉強にプラスとなるようにしていきたい。
統合による子どもへの精神的なストレスを緩和するために、小学5年生で実施している村内5校合同宿泊学習と同様な交流を、他の学年でも実施して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> 統合の2カ年前（平成30年頃）から交流の取り組みを実施することを考えている。 現在は、職場体験やリーダー研修で他の学校の児童生徒同士が交流する機会をつくっている。今後も交流する機会は増やしていきたいと考えている。
他の統合校の事例から考えている課題や対策などあれば教えて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> 他の統合校では制服の問題があった。中学3年は1年しか制服を着ないということで、以前の学校の制服着用を認められていたが、生徒側から統一したいという要望で、保護者と協議しながら、制服を統一させていったという事例があった。その学校では、以前の中学校の制服を飾ったりもしていた。 部活動が忙しくなると、地域活動に参加しなくなるということを避けるため、なるべく地域活動に参加できるよう、学校と地域が連携することもある。 統合中学校でも小中連携に取り組み、小中学校間の情報交換等で、授業改善や学習指導、生活指導など、児童生徒に対する適切な対応を効果的に図っていくことを考えている。

■教育課程、体制について

質問	回答
恩納小学校だけが教育課程特例校として英語授業をやっているとの話ですが、学力に差がでるのではないかと。他の学校も恩納小学校と同様に教育課程特例校として実施して欲しい。	平成28年度に他の学校も教育課程特例校として申請し、平成29年度から実施する考えである。
統合中学校の方針の文言として、「生徒、学級の増により教員数が増える」とあるが、生徒は増えるとしても、統合すると学級が減るのでは。	生徒目線では学級・教員が増えるという考え方である。
統合中学校の方針に教員数が増えることとあるが、現在の恩納中学校と比較して教員数がどのくらい増えるのか、具体的に教えて欲しい。	9学級で16名の教員の配置ができる。5教科ではそれぞれ2名以上の配置となり、体育2名、音楽1名、美術1名といった専門の教員が配置できる。具体的な教科担当教員の人数については校長の判断になると思う。
教育課程特例校について、統合中学校ではどのような特色ある学校となるのか。	大学院大学の先生が実施する理科教育について、英語のリスニングで理解ができるとか、イメージ教育で英語力を向上させるなど考えている。
理科教育の充実や外国語教育の充実とあるが、授業時数が増えるということか。	年間の授業時数は1,015時間と決まっており、総合的な学習の時間の授業時数を減らして対応することを考えている。授業時数が増えるということはない。
第二外国語はどのレベルまでを考えているのか。授業時数はどれくらいと考えているのか。土台となる国語力についてどう考えているのか。外国語の充実というが、国語力がなければ伸びないと思うが。	基本的には会話ができるレベルを考えている。授業時数は週1回としており、外国語を学ぶことで日本語も鍛えられると考えている。
キャリア教育の充実として、多種多様な分野につながるような教育をして欲しい。実地体験（インターン）だけでなく、恩納村にないような仕事に触れることで、視野や夢が広がるようなキャリア教育がよい。仕事に対する意識が高くなるような教育を取り入れてもらいたい。	各中学校では、企業人による職業講話を既に実施しており、さまざまな職業があるということ伝えていく。今後さらに充実させながら取り組んでいきたいと考えている。
キャリア教育の充実とあるが、現在、取り組んでいる職場体験以外にどういったものを考えているのか。	将来の職業観をしっかりと持ってもらうため、総合的な学習の時間だけでなく、教科全般においてキャリア教育の視点にもとづいた授業内容に取り組んでいる。この取り組みを今後も継続し、内容を充実していきたいと考えている。

質問	回答
沖縄科学技術大学院大学（OIST）との連携ということで、今の教育状況ではOISTに入れるレベルではないので、OISTに入れるような子どもたちを育てて欲しい。また、英語教育の充実として、ALT（外国語指導助手）では伸びないと感じることがあり、バイリンガルや専門の先生を配置して、プログラムをしっかりと作成して英語教育を行えば、もっとALTもうまく活用出来るのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄科学技術大学院大学（OIST）との連携・活用は積極的に進めていき、OISTの授業が理解できるレベルまで引き上げていきたいと考えている。 恩納小学校は教育課程特例校で英語を取り入れており、今後はすべての小学校にも広げていく予定である。また中学生になっても英語力を向上させるよう、統合中学校では英語の先生も増えるため、ALTと一緒にしっかりとプログラムを作成していきたいと考えている。
統合によって通学時間が長くなると、時間もとられるので塾に行く時間も限られてくると思うので、未来塾を統合後ではなく、事前に始めて欲しい。	未来塾については、学力推進委員が10月～3月の期間で、5校すべてで実施している。今後は通年で実施することを考えている。
学力が低い子に対し、未来塾ではなく、補習を行うなど学校等教室をつくるべきではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、放課後の補習や学習指導員の派遣など、基本的には学校現場での学力向上の取り組みは推進していくことを考えている。 未来塾については、中学3年を対象にした学力向上の取り組みの一環として実施していくことを考えている。

■通学手段（スクールバス）について

質問	回答
スクールバスに生徒以外の一般の人が乗車できるのか。	スクールバスの運行については、今のところ生徒の通学不便の解消を第一として考えており、一般の方の乗車はできない。
スクールバスは有料なのか。	スクールバスは保護者の経済的負担を軽減する目的で、無料で運行する。
スクールバス通学時に事故等があった場合の補償はどうなるのか。	スクールバスが加入する事故保険等での対応とする。
スクールバスは全生徒対象なのか。	対象生徒について、現在の村規定では通学距離が6km以下は対象外としているが、緩和するのかどうか検討する予定。
スクールバスは一般の路線バスのバス停で乗車するのか。	スクールバスのバス停については、今後の検討において決めていきたいと考えている。
乗り遅れた場合の路線バス負担についてはどう考えているのか。早く下校したい生徒はどうするのか。	<ul style="list-style-type: none"> 乗り遅れや早く下校する場合について、路線バス利用の特別な補助は考えておらず、個々で対応していただく。もちろん緊急の場合は搬送する。 統合中学校の近くでは徒歩5分圏内に「屋嘉田」がある。 時間に合わせて帰れるよう、部活動の時間もきちんと管理しながら、時間のリズムをつくっていただけるようにしたい。
路線バスのバス停、統合中学校の近くに新設とかできないのか。	路線バスのバス停を統合中学校の近くに設置することは厳しい。
夏休み等休暇の時期にもスクールバス運行するのか（夏期講習等あるのか）。	今後のスクールバスの運営の検討のなかで考えていきたいと思う。
スクールバスそれぞれのルートの運行の台数について教えて欲しい。	全生徒を対象とした場合、北ルート大型バス2台、南ルート大型バス3台、喜瀬武原ルートマイクロバス1台での運行を想定しているが、今後の運営を検討する中で決定していきたいと考えている。

■制服について

質問	回答
統合中学校開校時の2年生、3年生は新しい制服を購入しないといけないのか。家計の負担にもなる。	統合前の中学校の制服でもよいと考えている。他地域でも同様の事例があり統合前の学校の制服の着用を認めている。家計の負担にならないよう配慮していきたい。
新しい制服や体育着の購入に補助などあるのか。	従来通り補助はない。

■安全面について

質問	回答
防犯・安全の確保について、農地に迷い込むとか、声かけ事案などあるので気になる。	建設予定地は住宅地から離れており、部活動の帰りなどは、周辺を含めた防犯対策を地域と一緒に取り組んでいきたいと考えている。また、安全性の確保のため、歩道整備及び防犯灯などを積極的に推進していく。
統合中学校の立地場所が周りに何もなしなので、学校の周りの整備など規制緩和なども踏まえて、教育にふさわしい環境になるよう開発計画を進めて欲しい。	統合中学校が立地する周辺は土地改良地域であり、住宅地にするなどはかなり厳しいが、可能な限り教育にふさわしい環境となるよう努力していきたいと考えている。